

流環審第2号

平成29年7月27日

流山市長 井崎 義治 様

流山市環境審議会
会長 新保 國弘



生物多様性ながれやま戦略（第二期）の策定について（答申）

平成28年12月13日付け流環第547号で市長から諮問のありました本件につきまして、当審議会において真摯に審議を積み重ねた結果、以下を答申といたします。

流山市は活発な市民活動により貴重な自然環境を守ってきた歴史があり、また、平成22年3月に全国に先駆けて策定した生物多様性ながれやま戦略では、「オオタカがすむ森のまちを子どもたちの未来へ」を基本理念と位置付け、オオタカを生物多様性の象徴として取り組みを進めてきました。

基本情報の蓄積を中心とした初期段階が終了し中期段階を迎える本戦略は、市野谷の森をはじめとした市内の貴重な自然環境の保全と、これらの自然をつなぐネットワークの創出に取り組んでいく段階に入ります。

また、市で検討を進めるオオタカを「市の鳥」として制定することについては、生物多様性の象徴であるオオタカを広く市民に周知・啓発することで、生物多様性ながれやま戦略の推進と市内の自然環境の保全に貢献するものと考えます。

本戦略に位置付ける取り組みと市民への継続的な啓発により、本戦略が流山市の価値の一つでもある豊かな自然環境を後世に伝えることに資するものとなることを期待し、別添「生物多様性ながれやま戦略（第二期）（案）」を提出いたします。